

しんきゅうしき
進級式



せい	しょ		
聖	書		
テ	ー	マ	
あん	しょう	せい	く
暗	唱	聖	句

ルカ 23・32～38

じゅうじかじょう いの
十字架での祈り

ちち かれ ゆる かれ
父よ、彼らをお赦してください。彼

らは、自分が何をしているのかが
わかっていないのです。

ルカ 23・34

目 標

キリストの十字架は自分のため
であることを知る。

4月3日(日)

聖書
聖句

ルカ 23・32～38

父^{ちち}よ、彼^{かれ}らをお赦^{ゆる}してください。彼^{かれ}らは、自^じ分^{ぶん}が何^{なに}を^にして^わいるの^わか^わか^わつて^わい^わない^わの^わです。

34節

わたし わる ぐち い ばうりよく
私にむかって、さんざん悪口言ったり、暴力
をふるってきたりする人をどう思うでしょう？
「ゆるせない!!」かな？ ところが、この苦しい
じゅうじ か うえ きま じぶん
十字架の上で、イエス様は、自分につばきした
り、あざけったり、ムチ打ったり、ののしつた
り、ついに殺そうとしている「彼ら」のために、
ちち いの かれ
父のゆるしをお祈りしたのでした!! 「彼らは、
じぶん なに わ
自分は何をしているのかが分かっていないので
す」から、と！ 完全な無条件のゆるしと愛の祈
りでした。

いの
祈り

てん　とうさま　さま　こころ　なか　しん
天のお父様、イエス様の心の中は信じら
れ　あ　い　か　れ　も
れないほどの愛が、「彼ら」のために燃え
て　し　こ　こ　ろ　あ　つ　く
ていたのだと知り心が熱くなります。

4月4日(月)

聖書
聖句

ルカ 23・32～33

そこで彼らはイエスを十字架につけた。また犯罪人たちを、一人は右に、もう一人は左に十字架につけた。 33節

「どくろ」と呼ばれていた所に着きました。
それまでの道のりを、イエス様は必死の思いで
ご自分^{みづかみ}がつけられる十字架^{じゅうじか}を負^おって歩^{ある}いてこ
られました。そこには三本^{さんぽん}の十字架^{じゅうじか}が立つこ
とになりました。真^ま中^{なか}にはその三人^{さんにん}の中^{なか}でも
極^{ごく}悪^{あく}に、一番^{いちばん}罪^{つみ}深^{ふか}い人^{ひと}がつけられます。なんと
それはイエス様^{さま}だったのです！ 右^{みぎ}と左^{ひだり}には
ほんとう^{ほんとう}に十字架^{じゅうじか}刑^{けい}になって当^あたり前^{まえ}の「犯罪^{はんざい}にん
たち^{たち}」がつけられました。本^{ほん}当^{とう}に痛^{いた}みの絶^{ぜつ}頂^{てい}
だったでしょう。

いの
祈り

てん どうさま さんにん なか いちばん あくにん
天のお父様、三人の中でも一番の悪人として、イエス様が真ん中の十字架につけられた事を知り驚きました。

4月5日(火)

聖書
聖句

ルカ 23・34～38

おまえがユダヤ人の王なら、自分を
救ってみろ

十字架じゅうじかのふもとはいろいろな人ひとがいました。
イエス様さまの着物きものをくじ引きひで分ける人々ひとびと、立つて
見ている人々ひとびと、あざ笑わらっている議員きいんたち、の
のしる兵士たちへいし…と。「あれは他人たにんを救すくった。
し神かみのキリストで、選ばれた者えらなら、自分おのを救すく
たらよい」、「お前まえがユダヤ人じんの王おうなら、自分おのを
救すくてみろ」と、あざけりとののしる声こえです。
十字架じゅうじかから降りるおことが救すくいだと勘かんちがいし
ていたのです。

いの
祈り

てん　　とうきま　　にんげん　　ち　え　　あさ
天のお父様、人間の知恵は、なんと浅は
かなものでしょう。そして、その心は冷
たく罪深いものです。ゆるしがひつよう
必要です。

4月6日（水）

聖書
聖句

ルカ 23・34

父よ、彼らをお赦してください。彼らは、自分が何をしているのかが分かっているのです。 34節

「彼らは、自分が何をしているのかが分かっているのです」とのイエス様の祈りはズバリ命中！って感じです。この「彼ら」とは、その時十字架のふもとにいた人々だけのことを言っているのだと思いますか？ いいえ、そうではありません。実は、あなたのことも私のことも、そう、全人類ひとりひとりのことをさしているのです。私たちはみんなわからないで罪ばかり犯しています。その私もゆるしていただけるのです。

いの祈り 天のお父様、イエス様のこのお祈りと流してくださった命の血によってのみ、罪ゆるされる事を感謝いたします。

4月7日（木）

聖書
聖句

使徒7・51～53

あなたがたは、いつも聖霊に逆らっています。あなたがたの先祖たちが逆らったように、あなたがたもそうしているのです。 51節

このイエス様を信じて救われる時、わたしたちもまた、イエス様のように祈ることができるようになります。ここにはステパノという、信仰と聖霊とに満ちた人が登場します。あまりにも知恵があり、御霊で満ちた人だったのでだれも議論に勝てません。人々はシャクにさわって迫害を始めました。天使のような顔をした若いステパノは、アブラハムから始まるイスラエルの歴史を話し、「あなたがたも不信仰な先祖たちと一緒に！」と語りました。

いの祈り 天のお父様、あなたの聖霊に満たされる時、人々の罪がよくわかり、罪だ！と言える勇氣も出ることを知ります。

4月8日（金）

聖書
聖句

使徒7・54～58

見なさい。天が開けて、人の子が神の右に立っておられるのが見えます。

56節

ステパノは議会で自分を訴えた人々に、「この正しい方を裏切る者、また殺す者となりました」（52）と、「正しいイエス様を、あなたがたは殺してしまった」と、迫ったのでした！これを聞いた人々は怒り狂って、ステパノに向かって歯ぎしりしました。その中でステパノが天を見つめていると、天が開けてイエス様が神の右に立っておられるのが見えたのです。それを聞いて人々は、叫びながら彼を町の外に引き張り出して石で打ち殺しました。

いの祈り 天のお父様、迫害されているステパノのために、イエス様は神の右に立って彼を支えたことがわかりました。

4月9日（土）

聖書
聖句

使徒7・59～60

主よ、この罪を彼らに負わせないでください。 60節

小さい石が、一つでもカツンって頭にでも当たったらイタイです。もし血でも吹き出したらゾッとします。この時、ステパノめがけて、小さい石ではありません。持てるだけの大石も飛んできたのでした。それで人が死ぬほどの石打ちです！その中で、ステパノは祈りました。祈りつづけたのです。「主よ、この罪を彼らに負わせないでください」と！この祈りは、イエス様の十字架の祈りと全く同じものでした。

いの祈り 天のお父様、イエス様の救いはすばらしいです。私も罪ゆるされて、このゆるしの祈りのできる子どもになりたいです。

しゅろのひ
棕櫚の日



せいしゅ
聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 23・39～43
十字架による救い
あなたは今日、わたしとともに
パラダイスにいます。

めく
目標

ルカ 23・43
悔い改めと信仰をもって、十字
架による救いを受け取る。

4月10日(日)

せいしゅ
聖書
聖句

ルカ 23・39～43
あなたは今日、わたしとともにパラ
ダイスにいます。 43節

きょうは「パーム・サンデー」、棕櫚の主日です。人々がエルサレムに入城される、ろばの子に乗ったイエスを、「ホサナ！ ホサナ！（わたしたちを救ってください、の意味）」と叫びながら、棕櫚の枝をふってお迎えした記念日です。そして、その週の金曜日に、その叫びは「十字架につけよ！」に変わりました。全人類は、三本の十字架の真ん中の主の十字架でハッキリと右と左に分かれます。救いか？ 滅びか？ あなたはどちらに？

いのり
天のお父様、イエス様の救いの十字架を感謝いたします。わたしも罪を悔い改め、イエス様を救い主と信じます。

4月11日(月)

せいしゅ
聖書
聖句

ルカ 23・39
おまえはキリストではないか。自分
とおれたちを救え。 39節

私たち人間は目の前のことしか見えないし、わからない者たちです。イエス様の隣の十字架につけられていた犯罪人のひとりの人が、「キリストなんだろう?! それだったら、自分を救い、われわれも救ってみよ?!」とイエス様にずっと悪口を言いつづけました。その人にとっての「救い」とはその場限りの、十字架から降りるということでした。本当の救いは、大きな深い愛のご計画で、それは主の十字架の身代わりの死なのです。

いのり
天のお父様、イエス様が周りのあざけりの声になど気にも留めず、救いの十字架にとどまってくださり感謝です。

4月12日(火)

せいしゅ
聖書
聖句

ルカ 23・40～41
おれたちは、自分のしたことの報いを受けているのだから当たり前だ。 41節

「お父さんにお尻ペンペンされても仕方ないよな」って、覚悟したことってあるでしょう？ そういうのを「認罪」といって、とても大事なことです。救われる一歩手前ですよ！ 片方の犯罪人の心に変化があらわれてきました！ 悪口を言いつづける反対側の犯罪人に話しかけます。たしなめたのです。それはちがうだろうって。われわれがこうなるのは当たり前だ、でも「この方は何も悪いことはしなかったのだ」と。

いのり
天のお父様、ひとりの犯罪人はイエス様のいのりを聞いてからでしょうか？ 心の向きが変わったのがわかります。

4月13日（水）



ルカ 23・42

イエス様。あなたが御国に入られる
ときには、私を思い出してください。
42節

イエス様の愛とゆるしに満ちたとりなしの
お祈りを聞いて、もうひとりの犯罪人の心の
目が開いたのでした！「イエスと言われるこ
の方は、何の罪も犯さないお方だったが、われ
われの身代わりに十字架に死んでくださった
のだ。この方こそメシヤだ。そうだ、やがて、
天の御国が打ち建てられる時が必ず来る。御
国の権威をもって、再び来られる時、『私を思
い出してください、Remember me.』
と祈ろう」と。

いのちの祈り 天のお父様、私もきょう心よりへりく
だって、Remember me. わたしを思い出し
てください、とお祈りいたします。

4月14日（木）



ルカ 23・43

まことに、あなたに言います。あな
たは今日、わたしとともにパラダイス
にいます。
43節

イエス様の超スピードアンサー!! やがて御
国の権威をもっておいでになる時を待つことは
ありません。「きょう」とイエス様は言われま
す！そうです、信じた今！です。あすでも、
あさってでもありません。「きょう」です。「ま
ことに、あなたに言います」です。「あなたはきよ
う、わたしと一緒にパラダイスにいるよ！」と
言ってくださいます。イエス様と共にいる所は、
どこもパラダイス！犯罪人は感激のきわみ
だったでしょう。

いのちの祈り 天のお父様、信じるなら、その場で救われ
て、天の御国に住む者とされる、これこそ
グッド・ニュースです！

4月15日（金）



ルカ 23・44~46

父よ、わたしの霊をあなたの御手に
ゆだねます。
46節

イエス様の救いは、「きょう、今」であると
共に、「永遠」です！このみ言葉は、十字架の
上で言われた七つの言葉の一番終り、第七言で
す。十字架の上で救いのみわざを完成された
のち、イエス様は、ご自分のすべてを父なる神
様にお任せしながら息を引きとられました。父
なる神様のみ手のわざにいつさいをおゆだね
されて。やがて、復活されたのでしたね！信じ
る 私たちもぜーんぶ安心しておゆだねできる
のです。

いのちの祈り 天のお父様、私の体も心も霊も、みん
な、イエス様のようにあなたにおゆだね
して永遠の救いに入れられ感謝です！

4月16日（土）



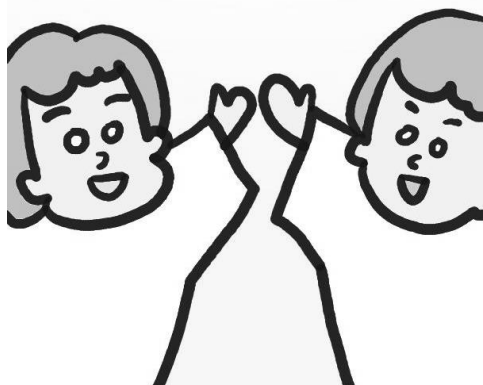
ルカ 23・47~49

本当にこの方は正しい人であった。
47節

ローマの兵隊の百卒長が、「この方は本当に
神の子であった」と言っていると、マタイ 27・54
に記されています。イエス様が苦しい十字架の
上で七つのお言葉を言われ、最後には、あまり
にもおだやかにご自分の霊を父なる神様におゆ
だねして、息を引きとられたのを見たからでし
た。マルコ 15・39にも「神の子であった」と記
されています。私たちも罪を悔い改めて、神の
子イエス様を救い主と信じましょう。

いのちの祈り 天のお父様、罪深い私のために、救い主、
神のひとり子イエス様をお与えくださっ
て心からありがとうございます。

イースター



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 24・1～12

よみがえられたキリスト

あなたがたは、どうして生きている方を死人の中に捜すのですか。

ルカ 24・5

目標

キリストのよみがえりを信じ、従う。

4月17日（日）

聖書
聖句

ルカ 24・1

週の初めの日の明け方早く、彼女たちは準備しておいた香料を持って墓に来了。

今日はイースターです。わたしたちの罪のみに代りに十字架で死なれたイエス様が、よみがえられた記念日！ 復活された日、とも言います。その日、明け方早く。イエス様の女弟子たちが、イエス様が入れられたお墓にむかいました。「イエス様が死んだ…」。悲しみながら、イエス様の身体に香料をぬってあげようとしていたのです。このあと、この女性たちは歴史的なできごとを目撃します！ 女性たちになったつもりで読んでいきましょう。あなたも、素晴らしいできごとの目撃者になる！

いのちの祈り

天のお父様、わたしも、あなたが行われた素晴らしいできごとの目撃者となれますように。

4月18日（月）

聖書
聖句

ルカ 24・2～4

そのため途方に暮れていると、見よ、まばゆいばかりの衣を着た二人、近くに来了。

4節

お墓についた女性たち。見ると、お墓をふさぐ大きな石がころがしてありました。中に入ってみると、なんとイエス様の身体がなくなっていたのです！ ただでさえかなしいのに、身体がないなんて。女性たちはどうしたらいいかわからず、目の前が真っ暗。悲しみにおしつぶされそうになりました。

その時です。光りかがやく二人のみ使いが現れました！ かなしみで真っくらな心の中に、希望の光ををてらしてくださるのが神様。かなしみをそのままで終わらせないのが神様です。

いのちの祈り

天のお父様、悲しみやつらいときこそ、あなたが希望をあたえてくださることを感謝します！

4月19日（火）

聖書
聖句

ルカ 24・5～6

あなたがたは、どうして生きている方を死人の中に捜すのですか。

5節

とつぜんかがやくみ使いたちがあらわれて、女性たちはびっくり！ おそろしくて、顔を地面にふせました。み使いが言いました、「あなたがたは、どうして生きている方を死人の中に捜すのですか。ここにはおられません。よみがえられたのです」。いくらお墓をさがしても、イエス様の身体はない。だって、よみがえられたのだから！ というのです！

死んだイエス様がよみがえられた?! 絶対にありえないことがおこったのです。死人をよみがえらせるという、人間ではぜったいできないことができる、それが神様なのです！

いのちの祈り

天のお父様、あなたがイエス様をよみがえらせた力があるお方だと知りました。あなたのすばらしさをほめたたえます！

4月20日（水）

聖書
聖句

ルカ 24・5～7

主がお話しになったことを思い出
なさい。 6節

実はイエス様は、ご自分が十字架にかかれ、三日目によみがえることを前もって話されていたのです。何度も。でも、女弟子たちはそんなことはすっかり忘れていました。それに、まさか本当によみがえられるなんて、信じていなかったのです。み使いの話を聞いたとき、女性たちはイエス様の言葉を思い出しました。そして心から信じたのです。

みことばを思い出す、ということは本当に大切なことです。みことばを暗唱するのは、あなたがみことばを思い出すため。聖書のみことばは、本当だ！とあなたが信じるためなのです。

いのちの祈り 天のお父様、どんな時もみことばを思い出せるように、これからしっかり暗唱していきます！

4月21日（木）

聖書
聖句

ルカ 24・8～11

そして墓から戻って、十一人とほかの人たち全員に、これらのことをすべて報告した。 9節

イエス様はよみがえられた！女性たちは、ほかの弟子たちに知らせるために、お墓からすつとんで帰っていきました。お墓がからっぽだったこと、み使いたちが現れたこと、イエス様の言葉を思い出したこと。見たこと聞いたこと、ぜ～んぶ伝えました！

神様がしてくださったすばらしいことを、人々に伝えることは、とても大切です。教会では、そのことを「証しする」と言いますね。難しいことは考えなくていいですよ。神様がしてくださったこと、そのままを話せばよいのです。

いのちの祈り 天のお父様、わたしも、あなたがしてくださったことを、人々に伝えたいです。わたしに勇気と力をあたえてください。

4月22日（金）

聖書
聖句

ルカ 24・11～12

この話はたわごとように思えたので、使徒たちは彼女たちを信じなかった。 11節

イエス様復活のビッグニュース！ところが。他の弟子たちは、女性たちの言葉を信じなかったのです。ペテロはお墓を見に行きました。たしかにイエス様の身体がない…。それでも、「なんで???」と思うだけで、まだ信じられない。

初めは全員、信じられなかったんです。死んだ方がよみがえるなんて、ふつうはありえないからです。イエス様の復活は、まちがいなく地球上でいちばん大きなできごと。復活を信じるのは、実はとてもむずかしい。でも、信じるのができたら、何よりもすばらしいことです。

いのちの祈り 天のお父様、地球上でいちばん大きなできごとであるイエス様の復活を、心から信じます。

4月23日（土）

聖書
聖句

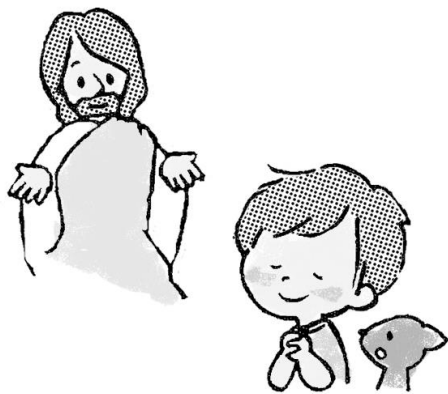
ルカ 24・1～12

ここにはおられません。よみがえられたのです。 6節

よみがえられたイエス様は、今も生きておられます。これからも永遠に生きておられます。このことを信じる人に、イエス様と同じ永遠の命を与えてくださいます。死んだらおわり、の悲しみをイエス様は打ち破られたのです！こんなすごいこと、ほかにありません。

「あなたは何を信じてるの？」と、もし聞かれたら、「イエス様がわたしの罪のみがわりに死なれたこと。そしてよみがえられたことを信じているよ！」とハッキリ伝える人になってほしいのです。その力は、生きてあなたと共におられるイエス様が、かならずくださいます。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様と同じ永遠の命をくださることを感謝します！イエス様の復活を伝える人にならせてください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 24・13～32

エマオへの道

すると彼らの目が開かれ、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。ルカ 24・31

目標

霊の目を開いていただき、復活のキリストと出会う。

4月24日（日）

聖書
聖句

ルカ 24・13～32

すると彼らの目が開かれ、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。31節

目はあいていて、見ているようでも、何も見えていない目のことを「ふし穴」と言います。ただの黒い穴だね。エルサレムからエマオに向かうふたりの弟子たちの目も、イエス様によって開かれるまでは「ふし穴」でした。四つのふし穴!! 実は彼らの目には、いろんなメガネがかかっていて見えていなかったんだということがわかります。でもある時、ある瞬間、心の目が開けて、イエス様が見えた! 最高の瞬間でした。

いの祈り 天のお父様、わたしの心の目をふさいで「ふし穴」にするものを取り去ってくださっていつもイエス様が見えますように。

4月25日（月）

聖書
聖句

ルカ 24・13～16

話し合ったり論じ合ったりしているところに、イエスご自身が近づいて来て、彼らとともに歩き始められた。15節

イエス様の十字架の死と復活のニュースは、きっと広く遠く知らされていったにちがいありませんね。エルサレムからエマオの村へ行こうとしていたふたりのお弟子さんたちの話題もそのことでした。ふたりは、「アレコレ、アレコレ、ああでもない、こうでもない、ペチャクチャ」とその事について語り合いつつ歩んでいました。人はいつもそうです! そこへなんと、イエス様が近づいてきて一緒に歩かれたのです。

いの祈り 天のお父様、人はよく知らないでアレコレ話し合いますが、実際に復活されたイエス様のご臨在がすべてです。

4月26日（火）

聖書
聖句

ルカ 24・17～18

二人は暗い顔をして立ち止まった。17節

ふたりの弟子たちには、その見知らぬ人がイエス様だとはわからなかったのです。「なんのことを語り合っているのか?」と尋ねられるイエス様のユーモア!! ふたりの弟子たちは、「暗い顔をして立ち止まった」とあります。そうなのです。彼らは、あまりの悲しきで、暗い顔になりました。彼らの目には、『悲しみの色メガネ・サングラス』がしっかりかかっていたのです。悲しみがあまりに大きく深いと、イエス様のことが見えなくなってしまうのです。

いの祈り 天のお父様、あまり悲しきすぎてイエス様を見失ってしまうことがないように、しっかり注意していきます。

4月27日（水）

聖書
聖句

ルカ 24・19～21

私たちは、この方こそイスラエルを解放する方だ、と望みをかけていました。
21節

あなたもガッカリ！ することがあります
か？ ここでこのふたりの弟子たちもガッカリ！ 失望しちゃった心だったのです。「なんの事を話しているの？」と聞かれ、「都で起ったことを知らないのですか？」と言うと、その人は「それは、どんなことか」と言います。ここにもイエス様のユーモア！ 彼らはナザレのイエスこそイスラエルを解放する方だ、と望みをかけていたのに一と、『失望のサングラス』でしたね。

いの
祈り

天のお父様、本当はイエス様は輝かしく復活され、今、目の前におられるのに…失望は目を見えなくするとわかりました。

4月28日（木）

聖書
聖句

ルカ 24・22～27

ああ、愚かな者たち。心が鈍くて、預言者たちの言ったことすべてを信じられない者たち。
25節

ふたりの弟子たちは、数人の女たちが、「イエス様が生きておられる」と御使に告げられたこと、他の弟子たちがお墓に入るとイエスが見当たらなかったと知らされたことを話しました。するとイエス様は、ため息まじりに、「ああ、なんという不信仰！」と嘆かれました。そうです、『不信仰というぶ厚いサングラス』がかかっていて全く見えなかったのです。イエス様はモーセから始めて、ずっと聖書全体を、ご自身について解き明かされました。

いの
祈り

天のお父様、聖書をもっともっと読み、お話ををもっともっと聞いて、しっかり信じる心の持ち主にしてください。

4月29日（金）

聖書
聖句

ルカ 24・28～29

一緒にお泊まりください。そろそろ夕刻になりますし、日もすでに傾いています。
29節

エマオの村に近づきました。その旅の人が先へ行こうとされるので、ふたりの弟子たちは、ぜひひとと、引き止めてお願いしました。「一緒にお泊まり下さい」と。ふたりの弟子たちは、実はとってもよいことをしたのでした。きょうのみ言葉は新聖歌336「日暮れてやみはせまり」という歌になっています。「主よ、ともに宿りませ」(Abide with me.)で、ロンドン五輪の開会式で演奏された曲です。

いの
祈り

天のお父様、わたしもいつも「イエス様、わたしとともにいてください」とお祈りして、日々主と共に過ごしたいです。

4月30日（土）

聖書
聖句

ルカ 24・30～32

道々お話しくださる間、私たちに聖書を説き明かしてくださる間、私たちの心は内で燃えていたではないか。
32節

「あーッ、イエスさまー!!」っと、ふたりの目が開けて、イエス様だとわかったのです！それは、一緒に食卓につかれて、パンを取り、神をほめたたえてさき、彼らに渡しておられるうちに、でした。「イエス様だーっ!」ってわかった瞬間に、お姿が見えなくなりました。その時ふたりはしみじみと思い当たるふしがあったことに気付きました。「そうかー聖書を解き明かしてくださった時、心が熱く内に燃えたよね」って。

いの
祈り

天のお父様、イエス様について書かれている聖書を読む時、ますます心の目を開いてイエス様が見えるようにしてください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨハネ 20・24～29
見ないで信じる信仰
あなたはわたしを見たから信じたのですか。見ないで信じる人たちは幸いです。 ヨハネ 20・29

目標

キリストの導きの中で、目に見えないキリストを信じる者となる。

5月1日（日）

聖書
聖句

ヨハネ 20・24～29
あなたはわたしを見たから信じたのですか。見ないで信じる人たちは幸いです。 29節

「うっそう！ ホントウ？」「信じられなあい」というような時、あなたならどちら？「信じます？」「いや、信じられません？」ここに登場するのは「疑い深い」とレッテルを張られているトマス。彼は「見なければ、決して信じない」という人でした。彼は考えようによれば、「正直」だったのです。イエス様は彼のすべてをご存じで、八日後、二度目にトマスのいる所に来てくださいました。ひれ伏すトマスに、「信じる人になりなさい」と言われます。

いのちの祈り 天のお父様、あなたやイエス様を見ないで信じることが、どんなに幸いなことであるかが、よくわかりました。

5月2日（月）

聖書
聖句

ヨハネ 20・19～23
こう言って、イエスは手と脇腹を彼らに示された。弟子たちは主を見て喜んだ。 20節

マグダラのマリアから、復活の主にお会いしたと聞いても、弟子たちはユダヤ人をおそれ、戸をピタツとしめ切っていたのでした。

週の初めの日の夕方のことです。戸がしまっていたのに、イエス様が入ってこられて、彼らの中に立って「安かれ」と言われ、手とわきとを見せてくださいました。弟子たちの喜ぶ顔が目につくようですね。弟子たちは主を見て喜んだのでした。その弟子たちをイエス様は聖霊に満たしておつかわしになるのです。

いのちの祈り 天のお父様、何がうれしいと言って、よみがえられて生きておられるイエス様を見る喜びは最高の喜びです。

5月3日（火）

聖書
聖句

ヨハネ 20・24～25
私は、その手に釘の跡を見て、釘の跡に指を入れ、その脇腹に手を入れてみなければ、決して信じません。 25節

「残念だったねえ、トマス！」「君も一緒にいたらよかったのに」、「イエス様とお会いしたんだよ」。弟子たちだって、イエス様を見たから喜んで信じたのでした。トマスだけ疑い深い人間だとみんなから言われていますが、トマスは正直だったのです。信じるふりはできなかったのです。だから、こんなふうに言うしかなかったのですね。「ちゃんとこの目で見て、この指でさわってみるまでは絶対に信じられないよ」とね。

いのちの祈り 天のお父様、わたしも時には信じられないと思えるような時があります。ありのままあなたにお祈りしていきます。

5月4日（水）

聖書
聖句

ヨハネ 20・26～29

トマスはイエスに答えた。「私の主、私の神よ。」 28節

イエス様がトマスのそんな心を知らないはずがありません。イエス様はわたしたちの苦しみ悩む心をよくわかってくださって、イエス様らしい方法で素晴らしく解決してくださいます。八日後です。今度はトマスも一緒にいた時、戸が閉められていたのに弟子たちの中に来てくださいました。そしてトマスに、「さあ、指をわきに入れてみなさい。信じない者にならないで、信じる者になりなさい」と言われ、トマスは心から主を礼拝しました。

いのちの祈り

天のお父様、イエス様を生きておられる神様として心から礼拝し、見ないで信じられるさいわいな者になります。

5月5日（木）

聖書
聖句

Ⅱコリント 4・16～18

私たちは見えるものではなく、見えないものに目を留めます。 18節

あなたの目はよく見えますか？ 視力1.5だとバッチリですね。でも肉眼は時々見まちがえたり、見そこねたり、そして段々と視力が落ちます。それに目に見えるものは一時的で、どんどん変化したり、なくなっていったりします。何て心細く、頼りないことでしょうね。でも、見えないものに目を注ぐ世界があります。信仰の目をもって見る世界です。目に見えず、手に取って見せてあげられない大切なものがいっぱいあります。永遠に続くものです。

いのちの祈り

天のお父様、目に見えるもの、目から飛び込んでくる一時的なものに、振り回されないようお守りください。

5月6日（金）

聖書
聖句

Ⅱコリント 5・1～10

私たちは見えるものによらず、信仰によって歩んでいます。 7節

「ですから、私たちは心強いのです」と続いています。きのうも見ましたように、見えるものは、本当に一時的でどんどん変化したり、なくなったり、過ぎ去ったりしていきます。どうですか？ あなたのかわいいペットも、もしかしていなくなったかもしれませんね。見えるものを頼ったり、あてにするのではなく、見えないもの、すなわち、目に見えないけれど、ちゃんとおられる神様を信じる信仰によって歩くなら、心強いし、安心して進めるのです。

いのちの祈り

天のお父様、見えるものではなく、それを造り、治めておられる、目に見えないあなたを信じて歩ませてください。

5月7日（土）

聖書
聖句

ヘブル 12・1～2

信仰の創始者であり完成者であるイエスから、目を離さないでいなさい。 2節

「イエスから目を離さないでいなさい」と今日の聖句にはあります。「一体、何を信じていったらいいのかしら」、「一体、何に頼っていったらいいのかしら」、「一体、何を見つめていったらいいのかしら」と、みんなさがし求めているにちがいありません。そこで、「ハイ！ イエス様ですよ！」と、わたしたちは迷わず、言えるのです。イエス様は信仰者のお手本です。父なる神様を信じぬき従いぬいて、今、天の座についておられます。しっかり見つめ続けましょう。

いのちの祈り

天のお父様、どんな時も、何が起こってもイエス様を仰ぎ見つつ、目を離さず進んでいけますように。

はは ひ
母の日



聖書
テーマ
暗唱聖句

I サムエル 1・1～20

ハンナの祈り

安心して行きなさい。イスラエルの神が、あなたの願ったその願いをかなえてくださるように。

I サムエル 1・17

目標

苦しみの中にあっても、神が働かれることを信じ、祈り続ける。

5月8日（日）

聖書
聖句

I サムエル 1・17

安心して行きなさい。イスラエルの神が、あなたの願ったその願いをかなえてくださるように。 17節

今日は母の日、あなたを生んでくれたお母さんに感謝する日ですね。

今週は、「祈りの母」ハンナのおはなしをみていきましょう。

苦しいときや辛いとき、あなたはどのようなか？ハンナは、神様にすべての思いやなやみをうちあけお祈りし続けた人、神様がたしかにお祈りに答えてくださることを体験した人です。

多くの人が「神様なんていないよ」と言う世界だけど、今も生きてお祈りに答えてくださる神様をこれからも体験しようね！

いの祈り

天のお父様、今も生きておられ、わたしのお祈りに答えてくださるあなたを信じます。

5月9日（月）

聖書
聖句

I サムエル 1・1～2

ペニンナには子がいたが、ハンナには子がいなかった。 2節

エルカナには二人のおくさんがいました。エルカナが一番愛していたのは、さいしょのおくさんのハンナでしたが、ハンナには子どもがいなかったのです。この時代は、赤ちゃんを産めないことはただつらいだけでなく、バカにされたり、立場が弱くなることでもありました。

ハンナも、二番目のおくさんのペニンナに、子どもがいなくてバカにされ、心がきずつき、悲しく思いながらすごしていたのです。

でも、ハンナはまことの、なんでも知っておられる神様のことを、心から信じている人でしたよ。

いの祈り

天のお父様、どんな悲しみの中でもあなたを知っているということは、わたしにとっていちばんのしあわせです。

5月10日（火）

聖書
聖句

I サムエル 1・3～6

彼女に敵対するペニンナは、【主】がハンナの胎を閉じておられたことで、彼女をひどく苛立たせ、その怒りをかき立てた。 6節

ハンナの悲しみが深くなっていったのは、自分が信じる神様を恨ませようと、ペニンナがいじわるをしてくるせいでもありました。

悲しいとき「おまえの神様ってケチでいじわるだな」「おまえだけ神様に愛されていないんじゃないの」と言ってくる人がいます。

でも、神様の愛はどんなことがあっても変わることなく、その悲しみの向こうに、あなただけが体験できる、神様のすばらしい計画があることを知ってください。

いの祈り

天のお父様、あなたがわたしにも、とくべつな計画を用意しておられることを信じます。

5月11日（水）



I サムエル 1・7～8

わたしは十人の息子以上の者ではないか。 8節

悲しむハンナをなぐさめようと、エルカナは「子どもがなくてもわたしがいるじゃないか」ということばをかけました。でも、ちっともうれしくありませんでした。

人のなぐさめって小さなものです。でも、神様は、あなたをつくり、あなたを愛して愛して、ご自分のひとり子イエスを十字架で身代わりになさったお方。だから、人をなぐさめる大きな力を持っておられるのは神様だけだね！

もし、あなたが本当のなぐさめが必要だと思うとき、そのなぐさめは神様からもらおうね！

いの祈り

天のお父様、わたしをつくり、愛してくださりありがとうございます。ほんとうのなぐさめ主はあなたです。

5月12日（木）



I サムエル 1・9～16

私は【主】の前に心を注ぎ出していたのです。 15節

“わたしたちが”神様を知ってるのは大切だけれど、“神様が”あなたをだれよりも知っておられることを、知ることはもっと大切です。

ハンナは、神様はどんなたたかいいにも負けない強いお方であること、自分はその神様の前で、どれいのようなものだを知っていました。でも、その神様が味方でいてくださるなら、こんなに心づよく、しあわせなことはないですね。

ただ神様にだけ、お祈りしよう！

神様は、人の心を見ておられ、へりくだった心の人、神様にたよる人のお祈りをわすれないお方ですからね！

いの祈り

天のお父様、だれかにお願いするのでなく、いちばん強いあなたにだけ頼ります。

5月13日（金）



I サムエル 1・17～18

その顔は、もはや以前のようなではなかった。 18節

あんなにも悲しんで苦しんでいたハンナが、すっかり変わったのはなんででしょう。

心の中にある全部がからっぽになるまでお祈りして、背負っていた悲しみも苦しみも、重荷はすべて神様の前におろしたんだね！

「先取りの信仰」っていう言葉があってね、祈ったことはもう聞かれた！と信じることなんだけど、ハンナもお祈りの中ではっきりと、信仰によって悲しみに勝利したんだね！

わたしたちも、ハンナのようなお祈りができるといいね！

いの祈り

天のお父様、祈ったことはもうあなたが聞いてくださったと信じる信仰をください。

5月14日（土）



I サムエル 1・19～20

その名をサムエルと呼んだ。 20節

サムエルとは「神が聞かれる」「その名の上に神の名がとなえられえろ」という意味だって。

人はなんとなく生まれてなんとなく死んでいくものだ、と思っている人がたくさんいます。そして、一人の人がこの世界に生まれることが、神様のご計画によると知っている人は少ないです。あなたはどうですか？

神様に、意味があってもらった命と人生を感謝し、生きて行こう！そして、あなたの信仰を見て、まわりの人も「神様はいるんだね」と知ってもらえるといいね。

いの祈り

天のお父様、意味があって、あなたの計画で生まれてこれたことを感謝します。あなたによろこんでいただける人生をあゆませてください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

I サムエル 3・1～14

幼子サムエル

【主】よ、お話してください。しもべは聞いております。

I サムエル 3・9

目標

日々、神のみ声を聞いて生きる。

5月15日（日）

聖書
聖句

I サムエル 3・9

【主】よ、お話してください。しもべは聞いております。 9節

神様はどんな人にお話ししてくれると思いますか？ 大人の人？ えらい人？ 教会の先生？

神様は、小さな子どもだとしても、大切なことをお話しすることがあります。「聞いています」と、すなおに聞いて従う心になるなら、あなたも神様の声に気づくはず！

神様の愛がどんなに大きいか、あなたの罪のこと、イエス様の十字架のこと、沢山のことがただ「ふ～ん」って聞くんじゃなくて、自分のためだってことがわかるんだ。

小さなサムエルも、神様の言葉を聞きのがさないように、心の耳もすまして聞いたんだよ。

祈り

天のお父様、サムエルのような素直に聞いて従う心で、あなたの話を聞きます。

5月16日（月）

聖書
聖句

I サムエル 3・1

そのころ、【主】のことばはまれにしかなく、幻も示されなかった。 1節

聖書や、教会、教会の先生がいなかったら、どうやって神様の気持ちや言葉を知ろう？

神様は、人間を「神のかたち」に似せて特別に造られました。神様の気持ちや言葉がわかるようにしてくれたってことだね！ でも、人間は自分勝手ばかりして、かんたんに神様を捨ててしまうんだ。神様の言葉を聞こうとしないから、神様の言葉が聞こえなくなってしまったんだね。サムエルの時代もそうだね。神様のお話しの聞き取りにくい時代でした。

祈り

天のお父様、こんな時代にも聖書や教会の先生から、あなたの言葉を聞くチャンスをご下さり感謝します。

5月17日（火）

聖書
聖句

I サムエル 3・6

【主】はもう一度、サムエルを呼ばれた。 6節

あなたは神様にどんなお祈りをしますか？

「ああしてください。こうしてください。」と一生懸命にお願いはするかもしれませんがね。

お祈りはね、神様とお話しする時間！ お友達とお話しするとき、あなただけがしゃべってるなんてことはないでしょう？

聖書には、神様があなたにお話ししたいことがいっぱい詰まっているよ。そして、サムエルが神様のお話しを一生懸命聞こうとしたみたいに、聖書の一枚一枚を見て！ 神様はサムエルを呼んだようにあなたに呼びかけ、大切なお話しをたくさんしてくれるでしょう。

祈り

天のお父様、あなたのお話しを聞くために聖書の一枚一枚を読みます。

5月18日（水）

聖書
聖句

I サムエル 3・2～9

サムエルは、まだ【主】を知らなかった。まだ【主】のことばは彼に示されていなかった。 7節

サムエルが神の箱のある神殿で寝ていたとき、「サムエル、サムエル」という声で起きました。きつとエリが呼んだんだと、エリの所へ行っただけエリの声じゃなかったの。それが三回も続いたから、エリはそうか！と気づきました。そしてサムエルに、それは神様の声だから「お話しください。しもべは聞いております。」と言うよう教えました。エリは長い間神様のために働いてきた人だからわかったんだね。

今日も、神様はあなたを呼んでいるかもしれないね。そのことに気づかせてくれる人がいるときは、聞く心のじゅんぴをしてくださね。

いの
祈り

天のお父様、誰かがあなたの声に気づかせてくれるなら、すなおに聞きます。

5月19日（木）

聖書
聖句

I サムエル 3・10～11

だれでもそれを聞く者は、両耳が鳴る。 11節

神様がわたしたち一人ひとりにお話ししてくれるってすごいことだね！

でも、神様のお話しはいつもうれしい、たのしいことばかりでしょうか？ いいえ！

「もう聞きたくない！ いやだ！」って思うようなきびしいこともお話しするんです！

神様は、聖いお方。人が、自分勝手や罪があるままでは永遠に滅んでしまうことを悲しまれます。もし、あなたが神様を信じるのなら、うれしいことばかりではなく、耳がいたいくらいきびしいしいことも聞きましょう。あなたは神様のしもべ、神様の子どもなんだから！

いの
祈り

天のお父様、きびしいお言葉も聞きます。わたしはあなたの子ども、あなたのしもべです。

5月20日（金）

聖書
聖句

I サムエル 3・12～14

息子たちが自らにのろいを招くようなことをしているのを知りながら、思いとどまらせなかった咎のためだ。 13節

サムエルは神様からなにを聞いたのかな。

実は、エリの子どもは、神殿に礼拝に来た人たちが神様に捧げたものを、取っては食べていたのです。これは神様のものをうばう罪です！

神様は悔い改めるチャンスをくれましたが、だれも悔い改めようとはしませんでした。

サムエルは、エリの子どもだけでなく、子どもを止められなかったエリも、エリの家も、永遠に裁かれることを聞いたのでした。

神様を恐れ仕える人への責任のきびしさ！

いの
祈り

天のお父様、誰かの罪を見たなら、いいかげん加減にせず、止められますように。

5月21日（土）

聖書
聖句

I サムエル 3・12～14

エリの家は、いけにえによっても、穀物のささげ物によっても、永遠に赦されることはない。 14節

永遠に赦されることはないとは、なんてきびしいおことばでしょう。だれが神様の前に立った時に、自分は何の罪もない人間ですなんて、そんなこと言えるんだろう。

「ああ、そうか、だからこそ、イエス様がわたしたちの罪のためにいけにえになってくださったんだ」。そうわかる人はほんとうに幸せです。完ぺきではない、罪を犯してしまいいい、そんな人間だから、イエス様の救いが本当に必要なんだね。それを受け入れることが、神様の声に聞いて従うことなんだね。

いの
祈り

天のお父様、こんなわたしにも、イエス様による救いを用意してくださり、ありがとうございます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

I サムエル 16・6～13

ダビデの油注ぎ

人はうわべを見るが、【主】は心を見る。 I サムエル 16・7

目標

神が心の中をご覧になるお方であることを知る。

5月22日(日)

聖書
聖句

I サムエル 16・7

人はうわべを見るが、【主】は心を見る。 7節

あなたが王様を選ぶなら、どんなことが一番大切だと思いますか？ 筋肉モリモリでなんでもできること？ 天才でむずかしい問題も解決できること？ 背が高いイケメンであること？

イスラエルの最初の王様サウルも、背が高くてカッコよかったよ。でもサウル王様は自分勝手に、神様に従うことをやめてしまったんだ。神様はとても悲しんで、サウルではない王様を選ぶことにしたの。

神様が喜ばれ、選ばれる人は、その心がまっすぐ神様に向かっていて、神様に一番に従える人だということを忘れないでね。

祈り

天のお父様、自分勝手な心でなく、まっすぐな心であなたに従えますように。

5月23日(月)

聖書
聖句

I サムエル 16・6

サムエルはエリアブを見て、「きっと、【主】の前にいるこの者が、主に油を注がれる者だ」と思った。6節

サムエルは、神様に、エッサイという人に行きよう言われました。エッサイの子どもの中に、新しく王様になる人がいるからです。

サムエルがエッサイの子どもたちに出会ったとき、まずエリアブを見て“なんて立派で健康でかっこいいんだ！ この人が王様になるんだな！”と思いました。でも、サムエルが見ていたのは、どんなにかっこいいか、立派か、健康そうか、強そうか、という見た目のことでしかありませんでした。あなたは人を「見る」とき、どんな風に見ていますか？

祈り

天のお父様、見た目ばかりを気にする弱い心を強くしてください。

5月24日(火)

聖書
聖句

I サムエル 16・7

彼の容貌や背の高さを見てはならない。 7節

どうしてカッコ良さとか背の高さとかで人を見ちゃいけないの？

あなたが大切なことを決める時、人のカッコ良さや身長や頭の良さだけで決めるということは、例えば、本の表紙だけ見て全部読んだ気になってるのとおんなじ事だよ。表紙の部分が大切なんじゃなく中身が大切！ そうでしょ？

あなたもそう。神様は見た目のあなたではなく、中身のあなた、本当のあなたのことを見ておられるんです。

神様が本当のあなたを見てくださるように、あなたも、人を見るなら見た目でなくて、その中身を見ることができるようになってね！

祈り

天のお父様、わたしも人の見た目ではなく、中身を大切にできますように。

5月25日（水）



I サムエル 16・8～10

【主】はこの者たちを選んでおられない。 10節

サムエルは、エッサイの7人の子どもに会いましたが、神様は心を見て、7人とも王様になる人ではないと言われました。

神様の答えには「NO!」があります。神様に従わない心がある時、自分勝手に生きる心がある時、まちがった道を行こうとする時、神様は「そうではない。わたしはそれを喜ばない!」と言われるのです。

それは、あなたが最高の人生を歩むため、あなたが神様に喜ばれるいちばん良い答えを見つけるため、悪魔に負けないで永遠の命をもらうためなのです。

祈り 天のお父様、あなたが「違うよ」という時は、わたしにいちばん良い答えを用意してくださる時だと信じます。

5月26日（木）



I サムエル 16・11

その子^こが来るまで、私^{わたし}たちはここを離れないから。 11節

7回も神様の「NO!」を聞いたサムエル。でも、サムエルは信じていました。今日、すばらしい王様が誕生するって! エッサイにはまだほかに子どもがいて、その子に会うまでは絶対あきらめないって言ったの!

神様が「そうじゃない! それはいけない!」とあなたに何回も言われたら、すぐにあきらめたり、すねたり、やっぱり神様に従うより自分の思うとおりにしたいと思いませんか?

でも、それは神様からあなたへの信仰のテスト! 神様が喜ばれる答えを見つけるまでは絶対にあきらめないこと。どんな風にあなたが答えるか、神様も見ておられるのです。

祈り 天のお父様、あなたが喜ばれる答えをくださるまであきらめません!

5月27日（金）



I サムエル 16・12～13

さあ、彼に油を注げ。この者がその人だ。 12節

ついにサムエルはダビデという少年に出会いました。ただ見た目が美しいだけではなく、きらきら輝く目の奥に、とても美しい心が見えるようでした。その時、サムエルは、神様がダビデを選んでおられることがわかって、ダビデに特別なお祈りをしました。すると、ものすごい神様の力がダビデを包んだのです!

神様が選び、神様が喜ばれる特別な人^{ひと}には、神様の大きくてすばらしくて、ものすごい力が注がれるんだね!

神様を信じるあなたも選ばれた特別な人! 神様の大きな力に包まれているよ!

祈り 天のお父様、世界の中でわたしを選んでくださり、いつも大きな力で包んでくださってありがとうございます。

5月28日（土）



使徒13・22

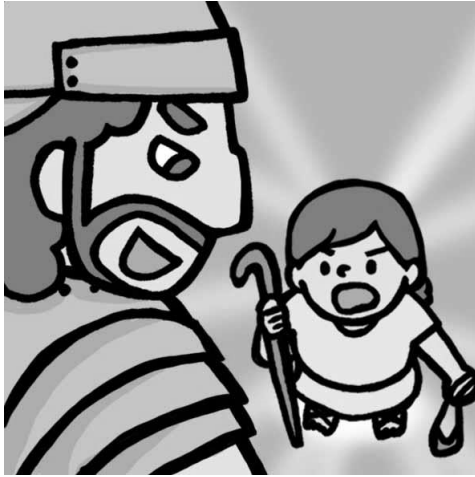
彼はわたしの心^{こころ}にかなった者^{もの}で、わたしが望むことをすべて成し遂げる。 22節

神様は、ダビデのどういう心^{こころ}を良いと思っ
て選ばれたの?

ダビデはね、こういう人^{ひと}でした。

- ① 神様が願^{ねが}っておられることを行^{おこな}うことが自分のよろこびだった。
 - ② 神様がいなくては生きていけないと思うほど神様にたよる人^{ひと}だった。
 - ③ 神様が喜ばない罪^{つみ}がある時は、心^{こころ}から、すなおに悔いあらためる人^{ひと}だった。
- わたしたちも神様をたより、神様に従い、すなおに悔いあらためる心^{こころ}をもちたいね!

祈り 天のお父様、あなたにたよって生きます。ダビデのような心^{こころ}で毎日を過ごせますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

I サムエル 17・31～51

ダビデとゴリヤテ

この戦いは【主】の戦いだ。主は、おまえたちをわれわれの手に渡される。 I サムエル 17・47

目標

共におられる神に信頼して、大きな困難にも立ち向かう。

5月29日(日)

聖書
聖句

I サムエル 17・47

この戦いは【主】の戦いだ。主は、おまえたちをわれわれの手に渡される。 47節

わたしたちは困った事があると「どうしよう？ ああしょうか？ こうしょうか？」と考えこんでしまうね。そして、考えれば考えるほど、あんまりいい答えはでなくて失敗ばかり！

そんな風になる前に思い出して!! 神様があなたのお祈りと信仰を待っていることや、神様ならどうされるのか、を！

神様は、人間が考えつかない方法であなたを助けられるお方、「やっぱり神様はすばらしい！」と言わせることができるお方なのです。

祈り

天のお父様、あなたを信じる人に救いの方法を用意して下さい感謝します。

5月30日(月)

聖書
聖句

I サムエル 17・34～37

獅子や熊の爪からしもべを救い出してくださった【主】は、このペリシテ人の手からも私を救い出してください。 37節

身長が 286 センチ、57 キロの鎧をつけた大男がいたら、きっとだれでも恐いでしょう？ でもダビデはちっとも恐れませんでした。

ダビデが羊飼いをしている時、羊をおそろ恐ろしいライオンやくまから、神様が何度も守り助けてくれたことを知っているからです。

あなたは神様に助けてもらったこと、守ってもらったこと、ありますか？ あの時守り助けてくれた神様は、どんなことがあっても、何でも、あなたを守り、助けられるお方ですよ！

祈り

天のお父様、いつも助けてくださるあなたが今日も助けてくださると信じます。

5月31日(火)

聖書
聖句

I サムエル 17・38～40

これらのものを着けては、歩くこともできません。慣れていませんから。 39節

主様は、ダビデに立派な鎧や兜をかぶらせたけど、ダビデには重く、大きく、合いません。

そこで、ダビデはいつも自分が羊を守るときに使う杖と小石五つと石投げを使いました。

神様を信じているダビデには特別な道具は必要なかったんだね。自分の持っている力を神様に差し出すなら、神様はその力を何倍にでも祝福して強くされると知っていたんだね。

神様を信じている人には、信じている人らしい武器と戦い方があることを知ってね！それはお祈りと、聖書の言葉と、信仰だよ!!

祈り

天のお父様、あなたを信じる信仰が一番の力だと信じ、感謝します。

6月1日（水）



I サムエル 17・41～44

ペリシテ人は自分の神々によって
ダビデを呪った。 43節

ペリシテの大男はダビデを見て、こんな子どもが自分に勝てるはずはないとばかにしました。それに、本当の神様ではない偶像を頼って、ダビデを呪ったというからおどろき！

ダビデだけがばかにされ、呪われたものではありません。ペリシテの男は、本当の神様を信じて生きるすべての人や神様ご自身を、ばかにしているのと同じことをしているのです。

神様がけっして喜ばれない事があります。それは、神様を神様とみとめない事、神様を信じて従う人をばかにする事です。あなたがばかにされたら、神様の心も傷つくのです。

いの
祈り

天のお父様、ばかにする人がいても、ただあなただけを信じて生きています。

6月2日（木）



I サムエル 17・45

私は、おまえがそしたイスラエルの戦陣の神、万軍の【主】の御名によって、おまえに立ち向かう。 45節

ダビデは、自分のためにではなく、神様が傷つけられたことを怒り、大男に立ち向かいしました。ダビデの一番の武器は「神の名」です！

神様は、神様を信じて従う人みんなに「神の名」のしるしをつけているのを知っている？

神様のお名前（なまえ）のしるしがついた人は、神様のお名前（なまえ）で生き、お祈りし、働き、特別な武器は持たなくても戦うことができるのです！

その力は、あなたを神様から引き離そうと攻撃してくる悪魔の力にも勝つことのできる力なんだよ！神様のお名前（なまえ）で素晴（すは）らしい！

いの
祈り

天のお父様、あなたのお名前（なまえ）で生き、お祈りし、悪魔にも立ち向かいます！

6月3日（金）



I サムエル 17・46～47

この戦いは【主】の戦いだ。主は、おまえたちをわれわれの手に渡される。 47節

人生の中には色々な戦いがあるね。学校ではお友だちや勉強のことで悩んだり、ある人は病気との戦いをするかもしれない。家の中でのことで悩んだりする人もいます。

でも、神様を信じている人にとっては、たった一人での戦いではないんだ。本当はあなたの戦いではなく、神様の戦いなんだって！戦いの中であなたの信仰（しんこう）を勝たせようと願う神様が、あなたの先頭（せんとう）に立って戦ってくれているんだ。

だから、あなたにできることは、あなたをまるとご神様におまかせすること！だれより強い神様があなたのために戦われる心強さ！

いの
祈り

天のお父様、色々な悩みや戦いの時に、あなたも戦ってください感謝（かんしゃ）します！

6月4日（土）



I サムエル 17・48～51

石は額に食い込み、彼はうつぶせに地面に倒れた。 49節

ダビデが投げたたった一つの石が大男の額に命中（めいちゆう）したとき、だれもが恐れるあの男がばった～んと倒れてしまいました。大勝利！

ダビデが勝てたのは、毎日の生活で石投げと石を使っていたからだね。いつどんな敵（てき）が来ても戦える準備（じゅんび）ができていたってことだね！！

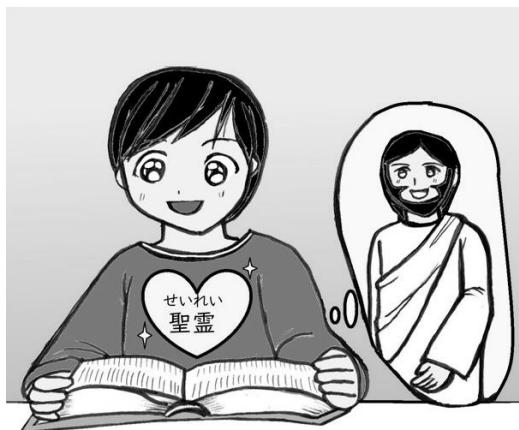
あなたはどうか？いつ悪魔の攻撃（こうげき）があってもいいように準備（じゅんび）できているかな？

聖書やお祈りの武器（ぶき）を知っていても、毎日使わないと、どうやって戦うのかわからない！そう、聖書（せいしょ）を読むのも、お祈り（いの）するのも、毎日続けることが大勝利（だいしょうり）のヒントなんだ！

いの
祈り

天のお父様、時々（ときどき）お祈りしたり時々（ときどき）聖書（せいしょ）を読むのでは悪魔（あくま）に勝てないと知りました。毎日（まいにち）続けられますように。

ペンテコステ



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨハネ 16・4b～15

聖霊の働き

その方、すなわち真理の御霊が来ると、あなたがたをすべての真理に導いてくださいます。

ヨハネ 16・13

目標

聖霊に導かれて歩む者となる。

6月5日(日)

聖書
聖句

ヨハネ 16・12～13

その方、すなわち真理の御霊が来ると、あなたがたをすべての真理に導いてくださいます。 13節

この世界にはいろんな人がいて、いろんな考え方ががあるよね。なにが正しくて本当なのか、なにがまちがいやウソなのか、小さなわたしたちにはわからないことばかり。

でもね、そんなわたしたちでも、聖書のお話を聞くと、神様のこと、イエス様のことがはっきりわかるでしょう？

それはね、聖霊が働いてくださっているしよ。こ。「ああそうか、神様、そうでした！ 神様ありがとうございます！」って、ちゃんとわからせてくださる聖霊に導かれて、今週も歩んでいこうね。

祈り 天のお父様、今週も聖霊によってお導きください。

6月6日(月)

聖書
聖句

ヨハネ 16・4～6

あなたがたの心は悲しみでいっぱいになっています。 6節

人の心はとても弱くて、イエス様を信じていても、悲しいことや不安なことがあると、かたんにぐったりしてしまうもの。

大好きなイエス様から「もういっしょにいられない」と聞いたお弟子さんたちもそうでした。

そんな弱い心のわたしたちを理解し、慰め、励ましてくれるイエス様と同じように、聖霊もまた、弱いわたしたちを励ましながら、強くしていってくださるんだ。聖霊が与えられた人なら、どんな悲しみにも勝っていけるよ。

祈り 天のお父様、今も聖霊によって力づけてくださることをありがとうございます。

6月7日(火)

聖書
聖句

ヨハネ 16・7

わたしが去って行くことは、あなたがたの益になるのです。去って行かなければ、あなたがたのところに助け主はおいでになりません。 7節

イエス様は、ご自分が去ることは「良いこと」だと言われました。肉体をもったイエス様が いっしょにいられるのはお弟子さんたちだけですが、そうではなく、イエス様のあとに遣わされる聖霊が、信じるすべての人といっしょに いることができるようになるからです。

神様を信じ、イエス様を信じる世界中の一人一人が聖霊といっしょにいて、聖霊がわたしたちをひとつにしてくれるんだね。聖霊ってすごいね！

祈り 天のお父様、信じるすべての人が聖霊によってひとつにされていることを感謝します。

6月8日（水）

聖書
聖句

ヨハネ 16・8～9

その方が来ると、罪について、義について、さばきについて、世の誤りを明らかにします。 8節

イエス様は聖霊がハッキリ教えてくださる三つのことを教えられました。一つ目は「罪」のこと。罪っていうと「犯罪者」のことを思い浮かべちゃうよね？ でも、もっと心のおくの「神様を神様と認めないこと」「イエス様がだれの、なんのために来てくれたかを理解しようとしないうこと」が「罪」だと言われたんだ。

もし、聖霊が働いてくださらなければ、罪を罪だとも思わず、神様の思いを知らんぷりして好き勝手に生きてしまうのが、人間なんだね。

いのちの祈り
天のお父様、聖霊によって、あなたのこと、イエス様を知ることができ、罪のことをはっきり理解できることをありがとうございます。

6月9日（木）

聖書
聖句

ヨハネ 16・10

義についてとは、わたしが父のもとに行き、あなたがたがもはやわたしを見なくなるからです。 10節

聖霊が教えてくれる二つ目のことは「義」のこと。言いかえると「正しさ」だね。

どんなに行いが正しくて、やさしく見えたとしても、人間の心は神様のように聖く、完全な正しさからはずっと遠いよね。

だからこそ、神様が「あなたは義です」と認めてくださるたった一つの方法が必要なんだよね。イエス様が十字架で、わたしのために身代わりの罰を受けてくださったことを聖霊によって理解させてもらうんだね。

いのちの祈り
天のお父様、イエス様の十字架がわたしのためであったと聖霊によって信じ、今はあなたの子どもであることを感謝します。

6月10日（金）

聖書
聖句

ヨハネ 16・11

さばきについてとは、この世を支配する者がさばかれたからです。 11節

聖霊が教えてくれる三つ目のことは「さばき」のこと。「この世を支配する者」は悪魔のことです。悪魔はなんとかして神様と人を引きはなそうとしていて、自分こそがこの世界を支配しているんだと言ってくるでしょう。

でも、本当は、わたしたちは神様のもの。人が罪のために永遠に死ぬことがないように、神様はイエス様を十字架にかけてくださったよね。そのときに、悪魔と死の力に勝ってくださった、ということです。そして、聖霊によってそのことを信じる人は、悪魔も死の力もこわがらずに、力強く生きていけるんだね。

いのちの祈り
天のお父様、わたしはあなたのものです。永遠の命をいただいて、悪魔と死に勝っていることを感謝します。

6月11日（土）

聖書
聖句

ヨハネ 16・14～15

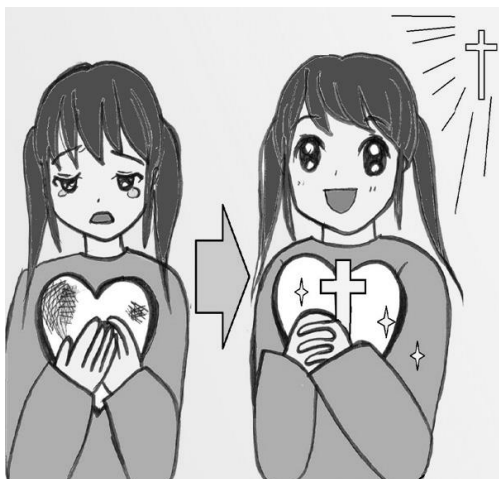
御霊はわたしの栄光を現されます。わたしのものを受けて、あなたがたに伝えてくださるのです。 14節

すごいことができる人を見ると、その人を「神様みたい」と思うことってない？ でもね、「人」や「神様以外」を神様にしてしまうのは悪魔のすること。

神様を信じる人のことばや行いを見て「神様ってすごいな」「イエス様ってすばらしい」と思えるようでありたいね。そう思わせてくださる聖霊の働きをもっと求めていきたいと思いませんか？ あなたも、今よりもっと、イエス様のすばらしさが現れる人になれるよ。

いのちの祈り
天のお父様、聖霊によって、イエス様のすばらしさが現れる人になっていきますように。

はな ひ こ 子どもの日



聖書
テーマ
暗唱聖句

エペソ 5・6～14a

光の子として歩みなさい

あなたがたは以前は闇でしたが、今は、主にあって光となりました。光の子として歩みなさい。

エペソ 5・8

目標

キリストによって光の子とされたことを自覚し、光の中を歩み続ける。

6月12日(日)

聖書
聖句

エペソ 5・6～7

ですから、彼らの仲間になってはいけません。 7節

神様を信じる私たちが、仲間になっていけないものがあるって、知っていましたか？ それは、神様が悲しまれる罪です(3～5節も読んでみよう)。わたしたちのまわりは、罪のゆうわくでいっぱい。テレビやネットの情報の中にも、ゆうわくはひそんでいて、影響されてしまいます。ついつい神様が悲しまれることをしたり、口から悪い言葉が出てしまったり。

まわりのお友だちは平気でしてるよ？ ということもあるかもしれませんね。でも、罪を犯すことの仲間になってはいけません。神様がどう思っておられるか？ をいちばんに考えないと。

いのちの祈り

天のお父様、わたしが、罪を犯すことの仲間になりませんように。あなたが悲しまれる罪のゆうわくから守ってください。

6月13日(月)

聖書
聖句

エペソ 5・8

あなたがたは以前は闇でしたが、今は、主にあって光となりました。

8節

あなたがたは以前は闇だった？ これは、わたしたちが神様を信じる以前は、神様とお交わりがなく、罪の中で生きていたよね、ということ。

しかし、イエス様はわたしたちの罪のみがわりに十字架にかかって、罪の罰をうけてくださいました。そのことを信じるなら、罪はゆるされて、闇から光に変えられるのです。罪の中で生きる人生から、いつも神様とお交わりをしながら歩む人生へ変えられるんです！ これは、ものすごいこと。闇が光になるなんて、本当はありえない変化だもの！

いのちの祈り

天のお父様、イエス様の十字架によって、あなたとお交わりする人生になりました。すばらしい変化を感謝します！

6月14日(火)

聖書
聖句

エペソ 5・8

光の子として歩みなさい。

8節

あなたがたは闇から光に変えられたのだから、ちゃんと光の子として歩みなさい、と書かれていますね。光の子として歩むって、どういうこと？ それは、イエス様に従っていくことです。イエス様こそ、わたしたちの光からです(ヨハネ 8・12 も読もう)！ イエス様に従っていくと、イエス様のことがもっとよくわかるようになります。そして、少しずつイエス様のように生きる人に変えられていくんです。

わたしたちは光の子として、光であるイエス様のお姿をめざして歩んでいきましょうね！

いのちの祈り

天のお父様、光の子としてイエス様に従っていきます。イエス様のように生きる人に変えられたいです！

6月15日（水）



エペソ 5・9

あらゆる善意と正義と真実のうちに、
光は実を結ぶのです。 9節

光の子どもとして、イエス様に従い、イエス様の生き方をめざして歩んでいくと、光って実を結ぶんだよ！と書いてあります。どんな実を結ぶんでしょう？それは「あらゆる善意と正義と真実」の実。神様のまえに正しい生きかた、神様のまえにウソのない生きかた、というすばらしい実が結ばれていくんです。それが罪の闇に支配されない、光の子どもが結ぶ実です。まわりの人も、「この人は、ほかの人となにかちがうなあ」と、きっと気づくでしょう！

自分は実を結べるのかなあ、と心配はいりません。実を結ばせてくださるのは神様です。

いのちの祈り 天のお父様、あなたの前に正しく、ウソのない、そんなすてきな光の実を結ぶ人になりたいです！

6月16日（木）



エペソ 5・10

何が主に喜ばれることなのかを
吟味しなさい。 10節

今日は、なにが神様に喜ばれることなのか？よくかんがえなさい、と書かれています。神様が喜ばれることって、どうしたらわかる？それは、ぜんぶ、聖書のみ言葉が教えてくれます。み言葉は神様の言葉だからです。これは神様が喜ばれるかな、み言葉はなんて言っているかな？と、み言葉を基準にしてかんがえましょう。自分とか人の言葉が基準だと、まちがっていることがいっぱいあるからね。

礼拝で、み言葉をきく。毎日、聖書日課で、み言葉をきく。神様の喜ばれることがわかってくるので、とても大切ですね！

いのちの祈り 天のお父様、み言葉から教えられて、あなたの喜ばれることがなにか、わかるようにみちびいてください。

6月17日（金）



エペソ 5・11～12

実を結ばない暗闇のわざに加わらず、
むしろ、それを明るみに出しなさい。 11節

12日に、罪を犯すことの仲間になってはいけない、と学びましたね。今日は、罪を犯すことの仲間にならないで、むしろ、それは罪だよ！と教えてあげなさい、というのです。まわりの人が罪を犯しているのに、見て見ぬふりをするのはよくないし、つらいですね。たとえば、友だちがだれかの悪口を言っていたら、それは良くないよ、やめよう。って、悪い罪だと教えてあげられたら、すばらしいことです。

でもこれ、かなり勇気がいります。神様から勇気をいただけるように祈りましょうね。

いのちの祈り 天のお父様、罪を犯している人がいたら、罪だと教えてあげられるように、わたしに勇気をください。

6月18日（土）



エペソ 5・13～14a

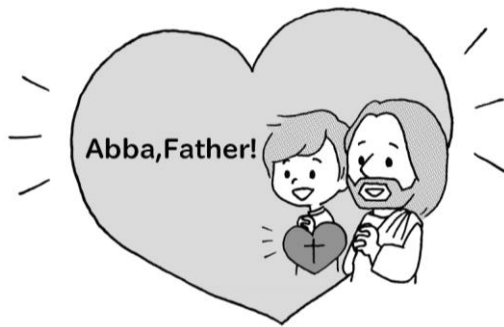
すべてのものは光によって明るみに
引き出され、明らかにされます。 13節

今日の「光」は、イエス様が照らされる光のこと。イエス様の光に照らされると、明らかにされるもの、それは自分の罪。わたしたちは、イエス様の光に照らされた時、自分には罪がある…と、はっきりわかるようになるのです。これは大切なこと。イエス様は、あなたが罪の闇を歩かないように、光で照らして罪をおしえてくださるのです。イエス様の愛の光なんです。

光の子どもとして、イエス様の光の中を歩みつづけましょう。それは、イエス様の愛の中で歩みつづける、ということですね！

いのちの祈り 天のお父様、イエス様がわたしを愛して、光で照らしてくださることを感謝します。イエス様の愛の光の中を歩んでいきます。

ちち ひ
父の日



聖書
テーマ
暗唱聖句

ガラテヤ4・1～7

神の子として

神は「アバ、父よ」と叫ぶ御子の御霊を、私たちの心に遣わされました。ガラテヤ4・6
神の子として、父なる神との親しい交わりの中で生きる。

目標

6月19日(日)

聖書
聖句

ガラテヤ4・6

神は「アバ、父よ」と叫ぶ御子の御霊を、私たちの心に遣わされました。6節

今日は父の日です！ お父さんは、わたしたちのために働くだけでなく、知らないところでたくさんのお父さんに感謝する日にしましょうね。

聖書の中には、わたしたちの「お父さん」について、たくさんのことが書かれているって、知ってた？ えっ、だれ?! ほら、いつもお祈りしているでしょ、天のお父様って。神様は、わたしたちのお父さんなのです。神様がお父さんだなんて、ものすごいことですよ！

いのちの祈り

天のお父様、父の日をありがとうございます。神様がわたしのお父さんであることを感謝します！

6月20日(月)

聖書
聖句

ガラテヤ4・1～3

同じように私たちも、子どもであつたときには、この世のもろもろの霊の下に奴隷となっていました。3節

ガラテヤ人の手紙が書かれた時代。子どもは将来、お父さんが持っているお金や財産をもらえるんだけど、大人になるまでは絶対自由にはできなかったんだって。自由がなくて、きゅうくつ。同じように、わたしたちも、この世のまちがった教えやかんがえの奴隷になっていたときは、きゅうくつな人生をおくっていたのです。

神様を信じる人は、この世のまちがった教えとかんがえから解放されて、今はほんとうの自由をいただいているのです！

いのちの祈り

天のお父様、この世のまちがった教えとかんがえから、わたしを解放してください、ほんとうの自由をくださって感謝します！

6月21日(火)

聖書
聖句

ガラテヤ4・3

同じように私たちも、子どもであつたときには、この世のもろもろの霊の下に奴隷となっていました。3節

奴隷は主人の言うことは何でも聞き、がんばってほめてもらおうとします。同じように、がんばって良いことをしたら、神様はわたしを愛してくれる！ と、わたしたちは思いがちです。もちろん良い行いは大切だけど、それはちがいます。あなたがもし、そう思っていたら、それはまちがった考えに縛られて奴隷になっているのですよ。

神様のあなたへの愛はね、あなたが思うよりずっとずっと、大きくて深い愛なのです。

いのちの祈り

天のお父様、あなたの愛が、わたしが思うよりずっと大きいことを知りました。大きな愛で愛してください感謝します。

6月22日（水）

聖書
聖句

ガラテヤ4・4

神はご自分の御子を、女から生まれた者、律法の下にある者として遣わされました。
4節

神様は、わたしたちが、良いことをしたくてもすぐ罪を犯してしまいやすい、弱い存在であることをよく知っておられます。だから、神様はそんなわたしたちのために、イエス様を生まさせて下さったのです。良いことをしないと神様はわたしを愛してくれない、というまちがった考えから、わたしたちを救うため、神様の大きな愛を示すためです。

明日は、イエス様を通して示された神様の愛について、読んでいきましょう！

いの祈り 天のお父様、わたしが罪を犯しやすくして弱いことを知っていて下さり、ありがとうございます。

6月23日（木）

聖書
聖句

ガラテヤ4・4～5

私たちが子としての身分を受けるためでした。
5節

神様がイエス様を通して、わたしたちに示して下さった愛。それは、イエス様がわたしたちの罪を全部背負って、十字架で罰を受けて下さったことです。イエス様はご自分の命と引きかえにして、わたしたちを救い出して下さいました。そのことを信じるなら、わたしたちは神の子とされるのです！

大切なひとり子イエス様を送って下さるほどの、神様の愛がわかりますか。神様はわたしたちを、「神の子どもとしたい！」と心から願っておられるのです。

いの祈り 天のお父様、大切なひとり子イエス様を送ってまで、わたしを神の子としたいと願われた愛を心から感謝します。

6月24日（金）

聖書
聖句

ガラテヤ4・6

神は「アバ、父よ」と叫ぶ御子の御霊を、私たちの心に遣わされました。
6節

イエス様の十字架の救いを信じるなら、わたしたちは神様の子供です。イエス様の霊である聖霊様が心に住んで下さるので、イエス様みたいに、神様のことを「お父さん！」と呼ぶことができます！「アバ」っていうのは、「パパ～」って呼ぶ、あんな感じです。

神様にむかって、「天のお父様、聞いて下さい！」って親しく呼びかけましょう。「お父様～！」とあなたに呼ばれたら、神様は大喜びで耳をかたむけて下さいますよ！

いの祈り 天のお父様、これからはもっと親しく「お父様！」と呼びかけていきます。

6月25日（土）

聖書
聖句

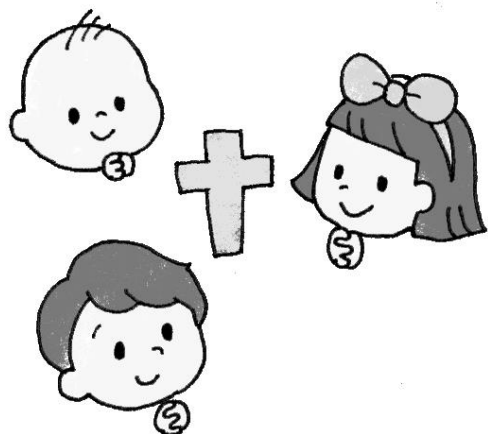
ガラテヤ4・6～7

ですから、あなたはもはや奴隷ではなく、子です。
7節

神様とわたしたちは、お父さんと子どもの関係になりました。「お父様！」と呼びかけることと同じくらい大切なことがあります。それは、天のお父様の声に耳をかたむけること。つまり聖書のみことばに耳をかたむける、ってことです。お父様！と呼びかけ、聖書からお父様の声を聞いて従うのです。

それは決してきゅうくつではありません。あなたを愛して下さる天のお父様と親しく交わることは、なんて自由なんだろう～、幸せだなあ～！と、きっとわかります！

いの祈り 天のお父様、あなたと親しく交わる幸せの中に、いつもいられますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

I サムエル 20・18～42

愛の契約

私とあなたが交わしたことばについては、【主】が私とあなたの間の永遠の証人です。

I サムエル 20・23

目標

主にあって結ばれる絆の素晴らしさを知る。

6月26日(日)

聖書
聖句

I サムエル 20・18～42

私とあなたが交わしたことばについては、【主】が私とあなたの間の永遠の証人です。 23節

「それ、矢はおまえのこちら側にある。それを取って来い。」この言葉がダビデとヨナタンの暗号文でした。こちら側にあるから大丈夫、サウルはダビデに害を加えようとはしていない。しかし矢が向う側にあると叫ぶなら、ダビデはサウル王ともヨナタンとも別れて去っていかなければならないという意味でした。そして「矢は向う側だ」だったので、二人は互いに口づけし互いに泣きました。でもしっかりと二人の主にある契約を確信し、誓い合いました。

いの
祈り

天のお父様、たとえ別れ別れになっても神様にあって誓った契約がどんなに強く強いものかをわからせてください。

6月27日(月)

聖書
聖句

I サムエル 21・1～9

ダビデはノブの祭司アヒメレクのところに来た。 1節

王のもとから去って、悲しい逃亡者になったダビデの足取りをたどってみましょう。またその心ものぞいてみましょう。そして、そんなダビデをもずっと心に留めて守ってくださる神様のことを覚えましょう。サウル王に追われて、たった一人、ダビデは祭司アヒメレクの所へ行きます。神様に仕える人なら安心と思ったのでしょうか。でもその人の前で偽りを言い、パンとゴリアテのつるぎをもらうダビデでした。ダビデの心は恐れで満ちていたのですね。

いの
祈り

天のお父様、恐れる心はよくない行動を生むことがわかりました。いつもどんな時も神様に信頼できますように。

6月28日(火)

聖書
聖句

I サムエル 21・10～15

ダビデはその日、ただちにサウルから逃れ、ガテの王アキシュのところに来た。 10節

サウル王を恐れる恐れは、ますますダビデの心にいっぱい広がっていきました。すると、アキシュの家来たちはダビデだと知って、「え!? あのダビデではないか」と言うので、今度ダビデはガテの王アキシュを非常に恐れました。そして、どうしたでしょう!? なんと、気が変になったふりをして、よだれを流しながら、門のとびらをどンドンと打ちたたいたのです! アキシュは、ダビデを去らせました。神様の大きなあわれみの中に守っていただいたのです。

いの
祈り

天のお父様、恐れにとらわれた人の弱さを思い知らされます。でもあなたの大きな愛と守りがありがとうございます。

6月29日（水）

聖書

I サムエル 22・1～5

聖句

神が私にどのようなことをされるか分かるまで、どうか、父と母をあなたがたと一緒に住まわせてください。 3節

夢の中で、何者かに追っかけられて、なかなか逃げられなくて、こわい思いをしたことがありますか。ダビデにとっては、これは夢ではなく現実でした。命からがら逃げ回る！どんなにか恐怖の毎日だったことでしょう。アドラムのほら穴に、父の家の者がみんな集まり、社会のつまはじきにされている人々が、みんな400人の軍隊となつて、ダビデはその長となりました。次のモアブでは両親を王にあずけます。さらにガドの言葉に従ってユダのハレテの森へ。

いの

祈り 天のお父様、逃げ回りながらも、すべては神がなさっておられると信じていたダビデの、あなたへの愛を見えます。

6月30日（木）

聖書

I サムエル 22・6～19

聖句

あなたの家来の中に、ダビデほど忠実な者が、だれかいるでしょうか。 14節

正しい神の祭司アヒメレク一家と、85人の祭司たち、町に住むすべての人々と家畜を、エドムびとドエグが打つという悲惨なことになりました。ダビデに善い心をあらわしたアヒメレクが、サウルに語ったダビデについての言葉は、ますますサウルのねたみと憎しみの心に油をそそいだようです。ねたみの固まりのサウル王は、ダビデと協力したアヒメレクにも同じように憎しみとねたみを覚えたのでした。「ねたみは骨を腐らせる」（英訳聖書・箴言14・30）のです。

いの

祈り 天のお父様、正しい者がねたみを買ひ、ねたみがいかに激しいものかわかりました。ねたむことがないようにしてください。

7月1日（金）

聖書

I サムエル 22・20～23

聖句

私と一緒にいなさい。恐れることはない。 23節

すべてまぼろしだ！と思ったら、その中から一人の人がのがれてダビデの所に走りしました。アヒメレクの子たちの一人で、名をエブヤタルと言いました。きっと恐怖におののきなからダビデに報告したことでしょう。ダビデの心は張りさけるばかり、と共にダビデの霊はしっかり目覚めました。そしてエブヤタルを励まします。「わたしの所にとどまりなさい。恐れないでよい。わたしの所にいれば、安全です」と。そしてやさしく保護の手をさしのべます。

いの

祈り 天のお父様、まどろみかけていたダビデの霊を覚まされたあなたが、いつも私の霊を覚ましていてください。

7月2日（土）

聖書

I サムエル 23・1～14

聖句

サウルは、毎日ダビデを追い続けたが、神はダビデをサウルの手には渡されなかった。 14節

神様に愛され、神様を愛する人の模範のようなダビデを、ここで見ることができます。それは、いつでもどこでも、どんなことのためにでも、「主に問う」、つまり、お祈りをして、神様のお心をうかがい、お言葉をいただくという姿勢です。2節、4節、10節、12節で、ダビデは主に問いました。せっかくケイラの人々を救ったのに、彼らはダビデをサウルの手には渡すと神様に告げられたので、ダビデは去ります。しかし、神様はしっかりとダビデを守っていてくださいました。

いの

祈り 天のお父様、何が一番大切か、お祈りをして、あなたのみこころを知るとき守られることがわかりました。